

2022/07/20 (水)

前期終業式

聖書 マタイによる福音書 7章7-12節 (新約聖書11頁)

「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。あなたがたのだれが、パンを欲しがる自分の子供に、石を与えるだろうか。魚を欲しがるのに、蛇を与えるだろうか。このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして、あなたがたの天の父は、求める者に良い物をくださるにちがいない。だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。これこそ律法と預言者である。」

良い物をくださる

前期終業を迎えました。皆さんと共に神様に感謝したいと思えます。明日から夏休みですが補習、三者面談、部活、合宿、英和祭の準備、高校オープンキャンパス、大学オープンキャンパスに行く人、どうか実りある夏休みを過ごしてください。

今日は後ほど、新たな皆さんの主体的な学びを讃える“メイプル賞”の授与があります。また水泳、弓道、そして留学から帰国した英和生、留学へ向かう英和生からの挨拶もあります。皆さんのキャンパス、カリキュラムは世界にあります。

イエスは求め、探し、たたきなさいと言われ、同時に与えられ、見つけ、開かれると約束されています。そして神様は求める者に「良い物くださる」、前の6章では「すでに用意されている」とまで言われています。後は気づくかどうかです。

夏休み、キャンパスの外、世界には、学校のようにすべきカリキュラムはありません。そこには神様がすでに「良い物」を用意されています。それは「人にしてもらいたいと思うことは何でも、人にする」、神様の愛が用意されているのです。

(しばらく黙祷しましょう)

恵みと導きのもとなる神様、前期のあいだも英和生を守りよき学びの時を与えてくださったことを感謝します。入学式、始業式、メイプルコンサート、衣替えの調整期間、修養会、イングリッシュ・キャンプ、奈良、京都、また長崎、福岡へのスタディ・ツアー、県内の日帰り研修、体育祭、部活動、大会、そして初めての小テスト、単元テスト、実力テスト、自ら学習の目標を立て、自らを評価し、自らを見つめながら学びを続けました。特にメイプル賞を受賞する者、また自らの活動を表彰される者の努力と学びを祝福してください。どうかあなたの変わらない導きの下、夏休みの新たな体験や学びを通して、英和生ひとりひとりが、あなたの用意してくださっている「良い物」に気づくことができるようにしてください。特に英和祭の準備をする英和生たち、留学に旅立つ英和生たち、また来春の進路へ向かって準備する高校3年生を励まし導いてください。戦禍の続くウクライナや世界の紛争にひとときでも早い平和の時を、そして感染症の終息と平安の時へと導いてください。どうか夏休みの間も、あなたに励まされて一日一日を大切に過ごさせてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン